

# 大学院特別セミナーのご案内

◆ 日時：2026年2月3日（火） 17：00-18：30

◆ 場所：大講義室

◆ 講師：久保 至誠 先生

福岡歯科大学 臨床教授

長崎大学歯学部（歯科補綴学分野）客員研究員



◆ 演題：根面う蝕の長期管理例

◆ 要旨：MIの理念が提唱され20年以上経過し、う蝕への対処法は徐々に変わってきた。また、若年層までのう蝕が減少する一方で、高齢者ではう蝕が増加し、対象となるう蝕も歯冠部から歯根部へ移行してきている。根面う蝕は厄介で、歯冠部う蝕に準拠した方法では上手くいかず、多くの歯科医師がその対応に苦慮している。

従来、う蝕治療では早期発見・早期治療（修復）が原則であった。しかし、臨床経験を積むにしたがって、これに疑問を抱き始めた（修復治療の6割が再修復）。ほぼ同時期に医療の現場でEBM（根拠に基づく医療）が重要視されるようになった。そこで、修復治療の寿命に関する研究を行うとともに、臨床の現場では、う窩がないか、あっても小さいう蝕や治療が困難なう蝕を切削介入せずに経過を観てきた。

本講演では、長期間にわたって根面う蝕を管理してきた症例を紹介しながら、根面う蝕への対処法を参加者の皆様と討議したい。

問い合わせ先：（歯科保存学講座・内線2927）